県政活動報告だより vol.8

発行/令和8年7月

宮城県議会議員 杉原たかし

発行者：杉原崇
事務所：宮城県宮城郡松島町磯崎字磯崎100－29
連絡先：０９０－１４９８－５６７３
メール：sugihara.miyagi@gmail.com
HP：https://be-blue.jp/

【ご挨拶】

向暑の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より私の議員活動に対し、温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

現在、世界では中東情勢の緊迫化が続いており、原油価格や物価への影響が懸念されています。私たちの暮らしにおいても、食料品や燃料価格の高止まりが続くなど、依然として先行きが不透明な状況にあります。

そのような中、今定例会では県民生活や地域経済を守るための物価高騰対策をはじめ、人口減少対策、子育て・教育環境の充実、地域産業の振興、防災・減災対策など、将来を見据えた様々な施策について議論が行われた他、物価高騰に対する支援策などの補正予算などが可決されました。

私自身も、松島・利府地域の課題解決はもとより、宮城県全体の発展に向けて、現場の声を県政へ届けることを第一に活動しております。今議会では重油流出事故による信頼回復、部活動の地域展開、プレコンセプションケアの推進、そして教育旅行の誘致促進などについて取り上げ、提言を行いました。

本号では、その主な内容を掲載しておりますので、ご一読いただければ幸いです。これからも「現場主義」を大切にしながら、皆様の声を県政に届け、安心して暮らせる宮城の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第400回県議会（令和８年６月定例会）において、一般質問を行いました

全質問につきましてはインターネット中継をご覧いただけます。

Facebook　X　Instagram　TikTok　YouTube　LINE

杉原たかしの情報を発信中!

1 巡視船「ざおう」重油流出事故からの信頼回復に向けて

問 国に対し、賠償の迅速化と適切な補償、来シーズンに向けた資材確保への協力等、更には漁業者との信頼回復に向けた誠実な対応を強く求めるべきだがどうか。

答 漁業者の心情に寄り添いながら、残る賠償の早期支払と今期の養殖生産の再開が確実になされるよう、国に対し誠意ある対応を強く求めていく。

問 消費者等に対して安心して購入・利用できる環境が回復したというメッセージを発信することが極めて重要だが、現在の海洋環境調査の状況と、安全宣言の発出の見通しについてどうか。

答 4/7から3回にわたり調査を実施したが、油は確認されていない。今後も定期的に調査し、８月下旬までに安全宣言が発出できるよう国と連携して取り組んでいく。

問 安全宣言後の風評被害対策として、積極的な情報発信や需要喚起策はどうか。また、松島湾ブランドの信頼回復に向け知事自ら先頭に立って取り組むべきだがどうか。

答 漁場環境調査の結果をホームページ等で積極的に発信し、広く周知を図るとともに、県庁ロビーや仙台駅などでの販売会、料理教室の開催などあらゆる機会を捉え、自ら先頭に立って積極的にPRし、松島湾ブランドの信頼回復に努める。

3 人口減少対策としてのプレコンセプションケアについて

問 性別を問わず、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザインや健康管理を行うプレコンセプションケアに関する市町村支援や広域的普及啓発をどう進めるのか。

答 ウィメンズヘルスサービス「ルナルナ」を県内全ての市町村で無料提供しながら情報発信を行っているが、広域的な普及啓発の展開や市町村に対する効果的な支援の在り方を検討する。

問 性や健康に関する正しい知識の普及を地域で担う人材を育成する「プレコンサポーター養成制度」に対する認識はどうか。また、人材の育成と活用をどう進めていくのか。

答 認知度が低い状況であることから、普及啓発を進めるとともに、地域の保健医療従事者等の受講を促進していく。

2 部活動の地域展開における県の役割について

問 少子化により単独自治体で競技を維持することが難しくなる中、広域型地域クラブをどのように位置付け、地域展開に組み込むのか。また、施設利用の調整や自治体間の連携支援など、広域的な調整役として具体的な支援策はどうか。

答 広域的な連携なども含めた地域展開に関する状況等の実態調査を実施しており、この結果を踏まえ、他県の先進事例を参考にしながら、市町村への支援を強化していく。

問 部活動等における遠征時の移動課題に対する認識はどうか。また、広域的な移動手段の確保に向けた支援策や保護者送迎時のガイドライン整備、移動支援制度の創設についてはどうか。

答 地方部においては保護者の送迎が大半を占めており、保護者負担が基本となっていた。他自治体における対応なども参考にしながら、現行のガイドラインの見直しや公的支援の在り方など研究していく。

問 地域クラブでの指導を希望する教員が安心して兼職兼業に取り組む環境づくりや、教員の専門性や経験を生かした指導者確保につなげていくための考えはどうか。

答 教職員としての知識・経験を地域の教育力として有効に活用していく事も含めて、円滑な推進を図っていく。

問 地域クラブの認定において、日本版DBSへの対応をどう担保するのか。併せて、認定要件や運用の中にどう反映し、地域クラブでの子どもたちの安全確保につなげていくのか。

答 地域クラブの認定にあたり、性犯罪歴のない指導者であることの確認を要件としており、市町村に対し性犯罪歴が判明した指導者や指導者候補は従事させないことも明示しており、子どもが安全に活動できるよう取り組む。

4 教育旅行誘致と震災伝承について

問 教育旅行誘致を推進していくため、中核的な役割を担う「みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター」の課題認識と今後の機能強化の方針はどうか。

答 支援センターの設置により、成果が上がっているが、来県の大半が東北地方からであり、関東以西からの更なる誘致拡大が求められており、海外市場の開拓を含め、誘致等を積極的に進めていく。

令和８年度６月補正予算における主な事業

国から交付された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、緊迫化する中東情勢の影響を受ける中小企業等の事業継続に向けた支援や、物価高騰の影響を受ける生活者や事業者に対する支援を予算化。

みやぎ県立高校将来ビジョン 2026→2040

高校教育を取り巻く環境の変化に対応した教育改革を進めてきましたが、急速な少子化の進行やそれに伴う高校教育に対するニーズの変化が生じていることから、生徒を主語にした新たな視点から高校教育を創造的に再構築することを目指し、「みやぎ県立高校将来ビジョン 2026→2040 ～ 高校教育の創造的再構築 ～」を令和８年３月に策定しました。

「みやぎ県立高校将来ビジョン2026→2040」を早期に実現していくため、文科省の財源を活用し、下記４つの取組を展開していきます

第1回

「みやぎ県立高校将来ビジョン実施計画」

“意見交換会”

～これからの「みやぎの県立高校」を一緒に考えてみませんか?～

議員活動について

宮城県内の課題解決に向けた視察や意見交換、議員の資質向上を目指した勉強会、各イベントへの出席等々、これまでの活動の一部をご紹介

重油流出現地視察（塩釜港付近）

海洋実習船「宮城丸」（パリ島のベノア港へ初寄港）

パンダ・アチェ市長表敬訪問（インドネシア議員連盟）

実業高校視察（福岡県立水産高校）

川内沢ダム視察（名取市にて建設中）

意見交換会（宮城県漁協と宮城県水林部）

こども園視察（広島県竹原市における保育園留学）

宮城オルレ（蔵王・遠刈田温泉コースオープン）

省庁勉強会（国土強靭化・こども性暴力防止法）

陸上自衛隊多賀城駐屯地（創立72周年記念行事）

ボランティア遊具塗装（ペインターラボ東北）

文化財視察（多賀城海軍工廠・松島地区）

田植え体験（JA仙台松島青年部）

利府町総合防災訓練（濃煙体験訓練）

利府町ふくしスマイルフェア（障がいへの理解啓発）

宮城県美術館が、約3年ぶりにリニューアルオープンしました！

老朽化した施設・設備の更新に加え、新たに「見える収蔵庫」や「キッズスタジオ」を整備し、子どもから大人まで、より身近に芸術を楽しめる美術館へと生まれ変わりました。開館45周年を記念したリニューアルオープン展では、約7,000点に及ぶコレクションの中から選りすぐりの作品を全館で展示。宮城・東北ゆかりの作品をはじめ、カンディンスキーやクレーなど世界的な名作も鑑賞できます。ぜひ、新しくなった宮城県美術館で芸術の魅力を体感してみてください。

■県政に対するご意見、ご提言などお聞かせください!

FAX：022-353-3147　メール：sugihara.miyagi@gmail.com

までお願いいたします（＊過去の活動報告書をご希望される方には直接お届けいたします！）

お名前：	電話番号：
ご住所：	

内容：

LINE公式アカウントを開設しました!

様々な議員活動を発信します。また、皆様からのお困りごともぜひお聞かせください。